

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】令和 4 年 1 月 18 日(2022.1.18)

【公開番号】特開 2021-25846(P2021-25846A)

【公開日】令和 3 年 2 月 22 日(2021.2.22)

【年通号数】公開・登録公報 2021-009

【出願番号】特願 2019-142753(P2019-142753)

【国際特許分類】

G 0 1 K 1/16(2006.01)

H 0 1 M 10/48(2006.01)

H 0 1 M 50/20(2021.01)

H 0 1 M 50/50(2021.01)

G 0 1 K 1/14(2021.01)

10

【 F I 】

G 0 1 K 1/16

H 0 1 M 10/48 3 0 1

H 0 1 M 2/10 S

H 0 1 M 2/20 A

H 0 1 M 2/10 E

G 0 1 K 1/14 E

20

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 1 月 7 日(2022.1.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 4 0 】

30

F P C 5 0 A のシート部材 2 2 を貫通する各貫通孔 5 1 , 5 2 は、前後方向に長い長方形状とされている。補強板 5 5 における貫通孔 5 1 , 5 2 の下方に連なる位置には、一对の補強板貫通孔 5 5 A が貫通形成されている。一对の補強板貫通孔 5 5 A は、貫通孔 5 1 , 5 2 と同じ形状とされている。F P C 5 0 A は、シート部材 2 2 に配線される回路パターン 5 3 A , 5 3 B を備える。第 1 回路パターン 5 3 A と第 2 回路パターン 5 3 B とは、絶縁層 2 4 に貫通形成された前後方向に長い長方形状の開口 2 4 A 内に前後一对のランド 5 4 が設けられている。第 1 回路パターン 5 3 A と第 2 回路パターン 5 3 B とは、前後一对のランド 5 4 に対して、前後方向について互いに反対方向に延びた後、曲がって F P C 5 0 A の端部側に向けて並んで延びている。温度センサ 3 0 の一对の端子 3 1 A , 3 1 B の並び方向は、F P C 5 0 A の各貫通孔 5 1 , 5 2 の長手方向(長辺方向)及び F P C 5 0 A の延びる方向に沿う方向とされている。

40

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 4 1 】

< 実施形態 4 >

次に、実施形態 4 について、図 6 を参照しつつ説明する。実施形態 4 の測温モジュール 6 0 は、貫通孔 6 1 を U 字状としたものである。他の構成は、上記実施形態と同一であるた

50

め、上記実施形態と同一の構成については同一の符号を付して説明を省略する。

測温モジュール60のFPC60Aは、シート部材22に配線される第1回路パターン67Aと第2回路パターン67Bとを備える。第1回路パターン67Aと第2回路パターン67Bとは、絶縁層24に貫通形成された開口24A内に前後一对のランド54が設けられている。FPC60Aのシート部材22には、前方（前後方向の一方）が開放されたU字状の貫通孔61が形成されている。貫通孔61により、前後一对のランド54に連なる一对の回路パターン67A、67Bは、前方（貫通孔61の開放された側）に向けて並んで延びている。補強板68における貫通孔61の下方に連なる位置には、補強板貫通孔68Aが貫通形成されている。補強板貫通孔68Aは、貫通孔61と同じ形状とされている。

10

20

30

40

50